

施工
レポート

タイルと左官のリニューアルで築80年の古民家を未来へ繋ぐ

タイル施工：(株)Euclid 白石普／左官施工：みやび左官 野中雅

▲ハミングバードと生命の輪廻をモチーフとした玄関口のレリーフ

東京・中野の閑静な住宅街、白亜のタイルにモダンで鮮やかなモザイクタイルが映える邸宅が現れる。築80年にもなる古民家のK邸。このたび、この古民家のリニューアルが行われた。

本稿ではK邸のリニューアル工事を紹介する。

(編集部)

偶然の出会いが古民家再生のキッカケに

築80年になるK邸のリニューアル工事のきっかけは、偶然、施主がテレビ番組でアフリカ・モロッコのモザイクタイルを施工しているタイル職人の白石普さんを知って連絡をし、2023年2月に話を伺うなかで古民家を残せないかという話題になったという。

日本の住文化を伝える貴重な建物を後世に残し、未来へ繋いでいくためにも、いっそのこと壊すことを考えないような建物にリニューアルしてしまえば良いのではないかと考えた。

古民家にタイルの風を吹かせる

白石さんは、大空を自由に飛ぶ鳥を建物全体で表現し



▲白釉の二丁掛けタイルにカラフルなアクセントタイルと幾何学モザイクタイルの手洗い場が印象的なK邸



▲緻密なデザインによって生まれる